

HAPPY スポーツ

第1回



ボッチャ交流大会

加古川市の新たな取り組みとして開催された今大会は、募集チーム数を上回る申し込みがありました。また、障がい者チームが参加チーム全体の約4割を占める結果となりました。

本市の障がい者スポーツ推進活動への支援として、高井利夫様からボッチャシート・用具等の寄贈を受け、大会の雰囲気が増したことにより、スムーズな進行に繋がり、参加者はもちろん、スタッフも一緒に盛り上がりました。

ボッチャは目標となる白球（ジャックボール）に赤ボール・青ボールを6球投げ合い、どれだけ近づけられたかを競う競技です。だれもが簡単に試合ができることから、『見たことがある』から『したことがある』へ社会参画の促進を遂げている競技でもあります。

東京パラリンピック競技大会のレガシーとして、パラスポーツは大きな関心を集め、障害の有無・年齢にかかわらず地域で普及活動が進んでいます。

今後も、幼少期から障がい者と健常者が触れ合える環境づくりを目標に、さまざまな競技を普及していきたいと考えています。来年度もぜひご参加ください。

三上 善子委員



優勝

チームちょこれーと（小学生チーム）

準優勝

ひぐち家（4）（ファミリーチーム）

3位

チームちょこみんと（小学生チーム）



かこパラスポーツ王国

令和5年8月20日（日）に“みんなで一緒にスポーツを楽しもう！！”をテーマに「かこパラスポーツ王国」が加古川市立総合体育館で開催されました。今年度は、小学生から大人まで95人が参加してくださり、大盛り上がりでした！！

わたしが担当しましたフライングディスクは、フリスビーの呼称で馴染みがあるかもしれませんが、これはいわゆる商品名のようなもので、公式の大会などでは『フライングディスク』と呼ばれています。

当日は、『アキュラシー』と呼ばれるフラフープのような的をめがけて投げたり、ストラックアウトの的をめがけて投げたりして体験していただきました。

また、椅子に座った状態やアイマスクを着用した状態で投げることで、障害疑似体験もでき、その難しさや楽しさも感じてもらえたと思います。

投げ方は自由ですが、ちょっとしたコツを覚えることで楽しさは倍増しますから、当日は同じ人が何度も体験していたことが印象的でした。

★開催種目★

車いすバスケットボール
ゴールボール
フライングディスク
シッティングバレーボール
ローリングバレーボール
ボッチャ
卓球バレー



東郷 雅立委員

スポーツカーニバル



令和5年11月3日（金・祝）に加古川市立総合体育館・加古川運動公園陸上競技場にて、開催されました。午前中は親子ふれあい体操、スポンジボールストレッチ、ダンシング玉入れを行いました。また、

様々なスポーツを体験出来るエリアもあり、スポーツを知るきっかけにもなれたと感じます。子供達が笑顔で体を動かし楽しんでいる姿に私も自然と笑顔になりました。また、家族やチームで交流する場面も沢山あり、スポーツの良さを感じていただけたと思います。

午後からは、以前“KAKOGAWA キラビト”で取り上げた『ダブルダッチクラブぴょん太』のみなさんの発表やダブルダッチの体験、そして体力測定が行われました。自身の運動能力を把握し、それに合った運動改善を行い、これからも永く健康でいられるようにしていきたいですね。参加された皆様、そして、開催にあたり協力して下さったスタッフのお陰もあり、大変有意義な時間となりました。今後も健康や笑顔の為にスポーツを楽しんでいただけるように様々なイベントを開催していきたいと思っています。



体力測定の様子

佐藤 彰洋委員

◆◆ KAKOGAWA キラビト ◆◆



さかい はると
坂井 陽翔選手（滝川第二高等学校 野球部）

プロ野球ドラフト会議 2023 にて「東北楽天ゴールデンイーグルス」から2位指名を受け、入団合意されました！！

～坂井選手にインタビュー～

Q.ドラフトで指名を受けたときの気持ちを教えてください。

A.2位指名を受けられると思っていなかったの、驚きとほっとした気持ちでした。

Q.意気込みを聞かせてください。

A.ケガをしない体づくりをして、チャンスをつかんだ時に力を出し切れるようにしたいです。

そのために、ウェイトトレーニングを大事にしており、柔軟性、筋力アップをするために、今後も継続して行いたいです。

Q.大事にしていることは何ですか。

A.「ありがとう」の言葉です。簡単に聞こえるが、野球をできているのは当たり前のことではなく、親や指導者、監督あってのことなので、本当に感謝しています。感謝の気持ち「ありがとう」を伝えるということは、今後も大事にしていきたいです。

Q.いつからプロ野球選手になりたいと思っていましたか。

A.小学生の頃から漠然とした夢を描いていましたが、高校に入学するときに、「やるからには高い目標をもって頑張ろう」と強く意識し始めました。

Q.野球をはじめたきっかけは何ですか。

A.幼馴染からの誘いです。

Q.どのような選手を目指しますか。

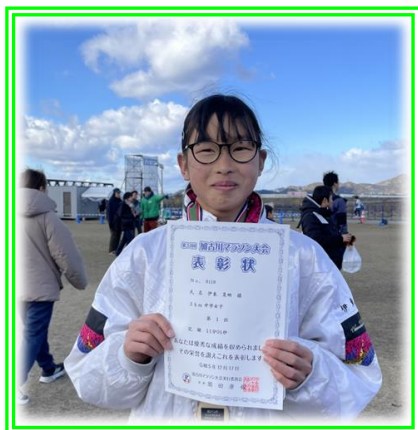
A.球界を代表するピッチャーです。
楽天を日本一に導く選手になれるよう頑張りたいです。



～野球少年へ向けて一言メッセージ～

幼い頃は目立った選手ではなかったですが、自分の夢をあきらめずに追いかけてきました。

スタートで出遅れても努力することで挽回できるので、あきらめない気持ちを持ち続けてください！！



いとう そらは
伊東 昊映選手（加古川市立中部中学校 2年生）

令和5年 12月 17日（日）に開催されました「第34回加古川マラソン大会」にて3km中学女子の部、記録11分01秒で優勝されました！！

～伊東選手にインタビュー～

Q.加古川マラソンにエントリーして走ってみてどうでしたか？

A.とても寒くてしんどかったけど、同じ部活の仲間と途中まで一緒だったので頑張れたし、お母さんも応援してくれたのでさらに頑張れました。

Q.優勝した感想は？

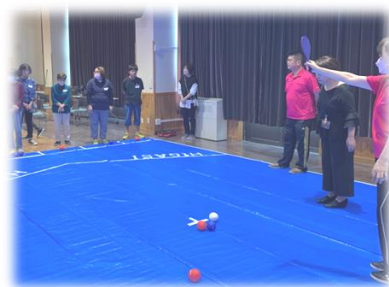
A.部活で練習をすごく頑張ったのでとても嬉しいです。



ふれあいスポーツ教室

障害の有無にかかわらず一緒にスポーツを楽しもうと令和5年10月7日（土）に加古川市総合福祉会館で開催された「ふれあいスポーツ教室」でボッチャの指導を行いました。

正式な競技では、障害の程度によってクラス別に行われますが、今回は一緒になって行いました。ルール説明やゲーム進行に少し時間がかかるかなと思いましたが、サポートの方の補助によりスムーズに進行できました。担当コートではチームメンバーに合わせルールも最低限にし、勝敗はつきながらも「ボッチャ」を楽しく体験してもらえたので良かったです。



波々伯部 早由利委員

表彰コーナー



兵庫県スポーツ推進委員功労者表彰

兵庫県スポーツ推進委員功労者表彰を受賞し、大変光栄なことと思っております。スポーツ推進委員として、スポーツを「支える」側になり、加古川市民のみなさんと一緒にスポーツを楽しむことができた11年間でした。ツーデーマーチの準備体操や親子ふれあい体操の指導は大変心に残っています。今後も市民のみなさんへスポーツの楽しさや素晴らしさを広めていけるように努めてまいりたいと思います。この度は、ありがとうございました。

水野 沙紀委員

スポーツ推進委員親睦会 開催

令和元年以来、4年ぶりの親睦ゴルフコンペと忘年会を開催することができました。

新型コロナウイルス感染症の影響がある間に委員を退任された方々にもお声掛けし、ゴルフコンペに10名、忘年会には推進委員、顧問、スポ推退任者など、総勢38名の参加があり、久々に多くの方と楽しい時間を過ごすことができました。

コロナ禍では制限が多く、思い通りの推進活動ができませんでしたが、これからは、従来の推進活動が行えることを感じる事ができたと思います。

ご参加およびご協力頂いた皆様ありがとうございました。

破魔 淳司委員



第36回加古川カップ綱引大会

下記のとおり綱引大会を開催します。

ご興味のある方は、ぜひ観戦にお越しください！

日時：令和6年2月25日（日）10時00分～15時00分（予定）

場所：加古川市立総合体育館

